

切りだす光に包まれる
切り絵の展覧会

柴田あゆみ

かみがみの森



2022年12月1日(木)～12日(月)

西武池袋本店 7階(南)=催事場A

※ご入場は各日閉場時間の30分前まで。 ※最終日12月12日(月)は、当会場のみ午後6時にて閉場いたします。

入場料：一般 800円 大学生・高校生 600円 中学生以下無料

※クラブ・オン/ミレニアムアプリまたはカードのご提示で入場料200円で優待にてご入場いただけます。

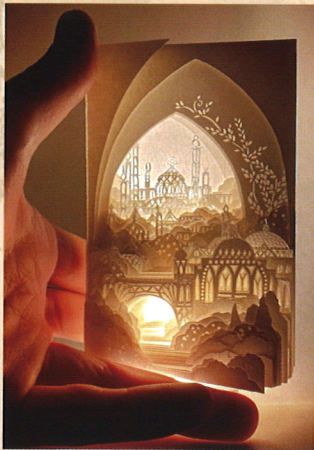
※「障がい者手帳」各種ご提示で、ご本人さまと同伴者1名さままで無料でご入場いただけます。

企画制作：柴田あゆみ かみがみの森 製作委員会

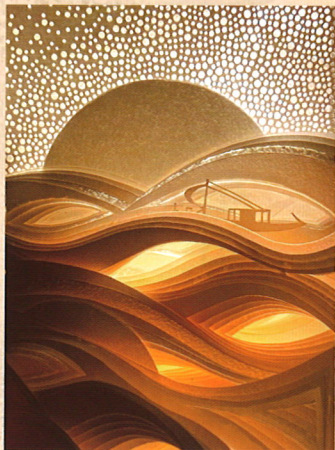
SEIBU
西武

池袋本店

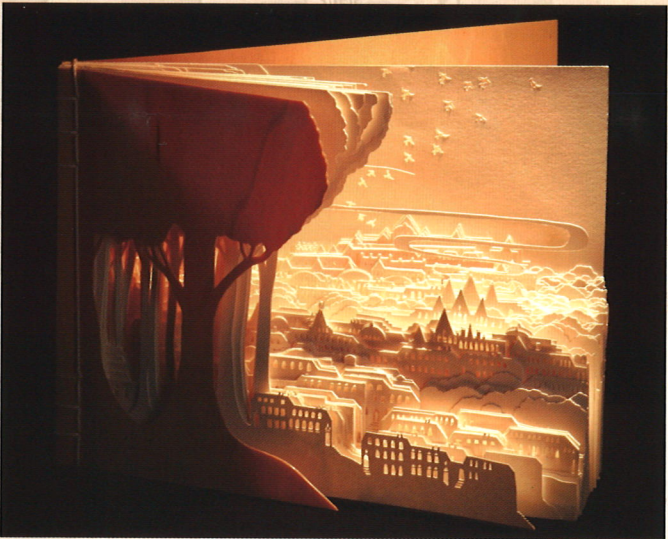
電話03(3981)0111大代表
www.seibu.jp



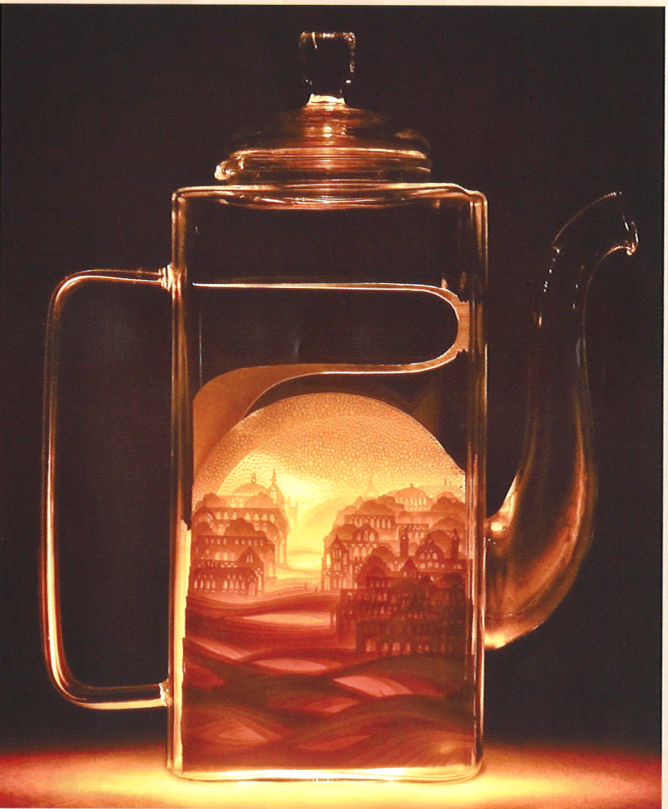
回廊



太陽の船



旅人の本



夜のしっぽ

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント(催事)の中止や延期、一部内容が変更となる場合がございます。※体調がすぐれない場合や発熱がある場合などは、ご来店をお控えください。※ご来店の際は、マスクの着用にご協力をお願いいたします。※できるだけ少人数でのご来店をお願いいたします。なお、会場内が混雑した際は、状況により入場制限や入場整理券を配付する場合がございます。※入場整理券の配付は開場時間前に終了する場合がございます。あらかじめご了承ください。何とぞご理解賜りますようお願い申し上げます。※営業日、営業時間については、西武池袋本店のホームページをご確認ください。

かみ

森羅万象のなかにかみ(精霊や魂などのマナ)が宿る
という日本人の自然崇拜をもとに、紙を使い作品を創りだす

かみは時間、時空を超え、万物の中に宿るといふ考えから、
多くの物や事柄に対し「畏敬や畏怖の念を抱く」といふ考え方があ

またそれは、ものを大切にするという考え方につながり

さまざまなものにかみが寄りつくと考え、依り代として祀ってきた

便利で安価な紙は、我々の生活に欠かせない身近な素材として
さまざまな用途で使用されている

しかし、このありふれた一枚の紙は、時としてのちが宿る宝にもなりうる
わたしたちは万物、自然、さまざまなものに生かされている感謝と畏敬の念を忘れずに
共存することができるよう、思いを込めて作品を切りだす

PROFILE



柴田あゆみ

AYUMI SHIBATA

神奈川県横浜市に生まれる。
2007年にニューヨークに移り、National Academy School of Artにて版画とミクスメディアを習得。

2015年よりパリに移り、パリ市運営のアトリエ59リポリにて2年間の展示と制作活動を行う。

2018年より日本を拠点として活動中。同年、イタリア・ミラノ マルペンサ空港での大型作品の展示や、ドイツ国際ペーパーアートトリエンナーレにて入選。

2019年には金沢21世紀美術館での世界工芸トリエンナーレにて入選。

2020年には4カ月にわたる大型展示を富士

川・切り絵の森美術館にて開催。同年より、継続して森山良子氏コンサートツアーの舞台美術を、すべて手切りにて制作・監修。

2022年、丸の内KITTEにて世界最大級サイズの総手切り作品“大地のうた”を展示。同年12月以降、全国を巡り個展を開催予定。

GOODS



会場限定書籍
2,420円



九谷焼豆皿 あわ/葉 (直径約13cm)
各1,980円



箸置き あざみ/はね 黒/はね 白/しげみ (直径約4cm)
各550円

※表示価格は本体価格に10%の消費税額を加えた「お支払い総額(税込価格)」となっております。

展覧会公式サイト <https://www.kamigamino-mori.com/>
(本サイトは、11月25日(金)から公開予定。)

